

事業活動の成果【アウトカム】

成果指標	想定される事業活動の成果		活動成果の達成度を測る指標		単位	目指す方向性	R 4		R 5		R 6		達成度	左記の指標が設定できない場合は、事業実施によって評価期間内に発現した定性的な成果を記入
	長期成果	中期成果	指標①	指標②			目標実績	実績	目標実績	実績	目標実績	実績		
長期成果	市民のスポーツへの意欲関心の向上		指標①	伊予市駅伝大会参加チーム数	チーム	→	45	40	40	かなり達成 (80%以上)				
							40	41	39					
長期成果	中学生のスポーツへの意欲関心の向上		指標②	ビーチバレージュニア大会参加人数	人	→	50	50	60	かなり達成 (80%以上)				
							52	23	67					
長期成果	市民のスポーツへの意欲関心の向上		指標③	スポーツ体験会	人	↗	実施なし	300	300	かなり達成 (80%以上)				
							実施なし	283	290					

事務事業の評価

所管における事務事業の評価	自己判定	担当者	目的の妥当性	4 上位施策の達成に不可欠な事務事業であり、事業の目的を見直す必要はない 3 上位施策の達成に必要な事務事業であり、事業の目的を見直す余地が少ない 2 上位施策の達成に必要な事務事業であるが、事業の目的は検討の必要がある 1 上位施策の達成に向け、事業の目的の見直しが必要である	2	評価点ランク		B	事業遂行に係る工夫点・事業成果		
						S	11 ~ 12				
所管における事務事業の評価	自己判定	妥当性	市民・社会ニーズへの対応	4 市民ニーズ・社会ニーズの有無に関わらず、実施する必要がある 3 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが増加傾向にある 2 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが現状維持傾向にある、又は、市民ニーズ・社会ニーズが限定的である 1 市民ニーズ・社会ニーズが減少傾向にある、又は、市民ニーズ・社会ニーズが曖昧である	2	A	9 ~ 10	B	コロナ期によりスポーツイベントが中止となり、活動は停滞した。しかし健康意識の高まりを受け、コロナ明けから誰でも参加できるニュースポーツを中心に再開し、普及が進んでいる。活動はコロナ前の姿に戻つつある。		
				3 本事業は市が直営で実施すべきものである 2 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、適切に導入している 1 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、導入の範囲に検討の余地がある	3	C	5 ~ 6				
				4 目標を上回って達成できた（100%以上の達成） 3 概ね達成できた（80%以上の達成） 2 やや達成できなかった（50%以上の達成） 1 達成できなかった（50%未満の達成）	3	S	11 ~ 12				
		4 既に相応の成果を得ているが、今後も成果向上の余地がある 3 成果向上が期待でき、事業継続の必要がある 2 成果は低調であるが、手法等の改善によって成果向上の余地がある 1 今後の成果向上は見込めない	2	A	9 ~ 10						
		4 本事業がなくなると、不特定多数の市民・団体等に重大な影響がある 3 本事業がなくなると、特定の市民・団体等に重大な影響がある 2 本事業がなくなると、市民・団体等への影響は少ない 1 本事業がなくなると、市民・団体等への影響はほとんどない	3	C	5 ~ 6						
		4 現状では最善の手段であり、他の手段を検討する必要はない 3 他の手段もあるが、現状の手段が望ましく、改善の必要性は低い 2 現状の手段が望ましいとは言えないため、他の手段を検討すべきである 1 現状の手段ではなく、他の手段に変更すべきである	2	S	11 ~ 12						
	効率性	コストの最適性	4 コストの削減・効率化の成果により、これ以上、改善の余地はない 3 コストの削減・効率化を適切に進めており、改善の必要性は低い 2 コストの削減・効率化に努めているが、成果が十分ではないため、積極的な改善が必要である 1 コストの削減・効率化の成果が全く得られておらず、技術的な改善が必要である	2	A	9 ~ 10					
			4 事業の性質上、受益者負担を求めものではない 3 公平なサービスを提供し、適正な受益者負担を求めている 2 ある程度の公平なサービスを提供しているが、受益者負担には見直しの余地がある 1 対象者に偏りがあるなど公平なサービスとはいえない、又は、ある程度の公平なサービスを提供しているが受益者負担を求めている	3	C	5 ~ 6					
			4 事業の性質上、受益者負担を求めものではない 3 公平なサービスを提供し、適正な受益者負担を求めている 2 ある程度の公平なサービスを提供しているが、受益者負担には見直しの余地がある 1 対象者に偏りがあるなど公平なサービスとはいえない、又は、ある程度の公平なサービスを提供しているが受益者負担を求めている	3	D	3 ~ 4					
	一次判定	自己判定結果の確定	☑ 上記のとおり自己判定を確定し、本結果を踏まえて以下のとおり貢献度・重要度を判定します				判定区分	S	非常に高い	B	本事業は、スポーツ振興を通じて市民の健康増進と地域連携を図る重要な取組であり、妥当性が認められる。コロナ禍を経て活動が再開され、参加者の増加や市外からの集客も見込まれる中、より幅広い世代に対応した内容の工夫が求められる。今後は関係団体や民間との連携を強化し、ボランティア体制やSNS等を活用した周知により、限られた予算内での効率的かつ効果的な事業展開に努める。
			A	高い							
			B	普通							
所属長	重要度	S 市政全体からみても、重要度が非常に高いと判断される事務事業 ※自然災害等の緊急事態に対応する事務事業も含む	B	C 低い	B						
		A 上位施策の視点からみても、重要度が高いと判断される事務事業									
		D 上位施策への貢献度も踏まえ、統廃小を検討すべき事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む									